

工業用水道事業会計

平成28年度和歌山県工業用水道事業会計補正予算実施計画

収益的収入及び支出
支出

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備考
1工業用水道事業費用	1営業費用		千円 1,042,172	千円 △5,532	千円 1,036,640	
			690,290	△5,532	684,758	
		1有田川事業費	238,408	△1,223	237,185	固定資産除却費 △1,223
		3管理センター費	139,549	△1,080	138,469	給料 手当 法定福利費 △207 △1,725 852
		5一般管理費	97,934	△3,229	94,705	給料 手当 法定福利費 △1,052 △1,967 △210

資本的収入及び支出
支出

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備考
1資本的支出	1建設改良費		千円 609,498	千円 △385,645	千円 223,853	
			599,498	△385,645	213,853	
		1有田川第1事業所	393,648	△385,645	8,003	

平成28年度和歌山県工業用水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

千円

1 業務活動によるキャッシュ・フロー

当年度純利益	65,632
減価償却費	158,329
退職給付引当金の増加	1
賞与引当金の増加	273
その他の引当金の増加	8
長期前受金戻入額	△32,707
受取利息及び受取配当金	△2,501
支払利息	1,000
未収金の減少	86,806
貯蔵品の減少	252
未払金の増加	37,960
雑流動負債の減少	△20
小計	315,033
利息及び受取配当金	2,501
利息の支払額	△1,000
業務活動によるキャッシュ・フロー	316,534

2 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	△317,028
投資活動によるキャッシュ・フロー	△317,028

資	金	增	減	額	
資	金	期	首	殘	高
資	金	期	末	殘	高

△494

3,045,158

3,044,664

債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての補正までの支出額
又は支出額の見込み及び補正後の支出予定額等に関する調書

事 項	補 正 前 限 度 額	補 正 後 限 度 額	補 正 前 支 出 (見 込) 額		補 正 後 支 出 予 定 額		左 の 財 源 内 訳
			期 間	金 額	期 間	金 額	過 年 度 分 損 益 勘 定 留 保 資 金
(変 更) 1平成28年度隧道内配水管更新他工事	千円 325,500	千円 630,000	1 年	千円 325,500	3 年	千円 630,000	千円 630,000

平成28年度和歌山県工業用水道事業予定貸借対照表

(平成29年3月31日)

	千円	千円	千円	千円
資 産 の 部				
1 固 定 資 産				
(1) 有 形 固 定 資 産		9,825,567		
減 価 償 却 累 計 額		<u>△6,174,579</u>		
有 形 固 定 資 産 合 計			3,650,988	
(2) 無 形 固 定 資 産				
無 形 固 定 資 産 合 計			1,135	
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産				
長 期 貸 付 金			<u>1,500,000</u>	
固 定 資 産 合 計				5,152,123
2 流 動 資 産				
(1) 現 金 預 金			3,044,664	
(2) 未 収 金			60,000	
(3) 貯 蔵 品			<u>2,562</u>	
流 動 資 産 合 計				<u>3,107,226</u>
資 産 合 計				<u><u>8,259,349</u></u>
負 債 の 部				
3 固 定 負 債				
(1) 引 当 金			<u>180,460</u>	
固 定 負 債 合 計				180,460

4	流	動	負	債			
(1)	未		払	金		128,000	
(2)	引		当	金		13,158	
(3)	雑	流	動	負	債		<u>568</u>
		流	動	負	債		合計
							141,726
5	繰	延	収	益			
(1)	長	期	前	受	金	2,409,993	
		長	期	前	受	金	収
					益	化	累
					計	額	
						<u>△1,660,849</u>	
		繰	延	収	益		合計
							<u>749,144</u>
		負	債				合計
							<u><u>1,071,330</u></u>

資 本 の 部

6	資	本	金				
(1)	資	本	金				
	イ	固	有	資	本	金	163,544
	ロ	組	入	資	本	金	<u>4,539,756</u>
		資	本	金		合計	<u>4,703,300</u>
							4,703,300
7	剰	余	金				
(1)	資	本	剰	余	金		
	イ	受	贈	財	産	評	価
					額		147,572
	ロ	国	庫	補	助	金	54,445
	ハ	そ	の	他	資	本	剰
					余	金	<u>157,842</u>
		資	本	剰	余	金	合計
							359,859
(2)	利	益	剰	余	金		

イ 利益積立金	123,500		
ロ 建設改良積立金	1,935,728		
ハ 当年度未処分利益剰余金	<u>65,632</u>		
利益剰余金合計		<u>2,124,860</u>	
剰余金合計			<u>2,484,719</u>
資本金合計			<u>7,188,019</u>
負債資本合計			<u><u>8,259,349</u></u>

注 記

I. 重要な会計方針に関する注記

1 資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 先入先出法による原価法によっている。

2 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

・減価償却の方法

定額法による。

・主な耐用年数

建 物	8～50年
構 築 物	10～60年
機械及び装置	2～22年
工具器具及び備品	5～15年
車 両	6年

(2) 無形固定資産

・減価償却の方法

定額法による。

3 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当に備えるため、当年度の退職手当の期末要支給額に相当する額を計上している。

(2) 賞与引当金

職員の期末・勤勉手当及び法定福利費の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12月から3月までの4ヶ月分）を計上している。

(3) 貸倒引当金

貸倒実績がないため、計上していない。

4 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

II. 予定キャッシュフロー計算書等に関する注記

該当なし。

III. セグメント情報に関する注記

1 報告セグメントの概要

和歌山県工業用水道事業会計は、有田川第1事業所、有田川第3事業所及び紀の川第2事業所の3つの事業所を運営しており、各事業所で運営方針等を決定していることから、有田川第1事業所、有田川第3事業所及び紀の川第2事業所の3つを報告セグメントとしている。

なお、各報告セグメントに属する事業の内容は次のとおりである。

事業区分	事業の内容
有田川第1事業所	工業用水道給水
有田川第3事業所	工業用水道給水
紀の川第2事業所	工業用水道給水

2 報告セグメントごとの営業収益等

当年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

（単位：千円）

	有田川第1事業所	有田川第3事業所	紀の川第2事業所	合計
セグメント資産	1,402,154	4,259,200	2,597,995	8,259,349
セグメント負債	127,388	460,970	482,972	1,071,330
その他の項目				
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	29,577	39,207	173,190	241,974

IV. 減損損失に関する注記

該当なし。

V. リース契約により使用する固定資産に関する注記

該当なし。

VI. 重要な後発事象に関する注記

該当なし。

VII. その他の注記

該当なし。